

平成23年東北地方太平洋沖地震に対する 北陸地方整備局の支援状況について

平成23年4月11日16時00分現在

3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生から1ヶ月が経過しました。北陸地方整備局は、東北地方の各被災地の支援を継続していますが、これまでの支援についてとりまとめましたので、お知らせします。

●TEC-FORCE隊員の活動状況

地震発生直後からTEC-FORCE隊員として、延べ**1,915人**の職員を派遣（4月11日現在）

【主な支援内容】

- ①現地調査：河川、道路、港湾の被災状況の調査（延べ710人日）
- ②現地支援：東北地方整備局本局支援（TEC-FORCE総司令部等）、物資運搬（延べ126人日）
- ③大型浚渫兼油回収船「白山」：支援物資の運搬（延べ482人日）
- ④災害対策用機械：衛星通信車、排水ポンプ車、応急組立橋等各種災害対策機械（延べ369人日）
- ⑤リエゾン：陸前高田市、気仙沼市に職員を派遣（延べ228人日）

【①現地調査及び②現地支援の主な活動状況】

- ・河川・砂防班
鳴瀬川、吉田川の堤防や管理施設の緊急点検（3/12～3/17）
北上川下流河川事務所管内の水門・堰等の施設被害調査（3/21～3/27）
- ・道路班
国道45号及び各都市（大船渡市、陸前高田市、気仙沼市）へのアクセス道の被害状況調査（3/12～3/16）
三陸国道事務所管内の災害詳細調査支援（3/16～3/21）
- ・港湾班
気仙沼港、石巻港、大船渡港の被災状況調査（3/12～3/15）
- ・応急対策班（排水マネジメント）
地盤沈下で自然排水が不可能な、北上川河口部浸水エリアの排水作業及び管理を実施（3/27～継続中）

【東北Tec-Force総合司令部】



3/11～ 東北TF総合司令部の執務状況(4/7撮影)

【現地調査班(道路班)】



3/12～3/20まで 現地調査班(道路班)活動状況
気仙沼大橋被災状況調査(3/14撮影)

【現地調査班(港湾班)】



3/12～3/15まで 現地調査班(港湾班)活動状況
宮城県石巻港の港湾施設の被災状況(3/14撮影)

【現地調査班(河川班)】



3/12～3/17まで 現地調査班(河川班)活動状況
宮城県鳴瀬川堤防の被災状況調査(3/14撮影)

【③大型浚渫兼油回収船「白山」による支援物資の運搬】

- 3月12日～22日 宮古港へ物資運搬
(米、毛布、水(ペットボトル)、A重油10,000ℓ)
- 3月23日～28日 石巻港、久慈港へ物資運搬
(医薬品、食料品、乾電池、下着、A重油)



宮古市への支援物資陸揚げ作業



久慈市への支援物資搬送

【④災害対策用資機材の派遣(最大出動台数)】

- 津波等による湛水排除
排水ポンプ車 20台(名取川周辺、北上川下流周辺、仙台空港 等)
- 夜間作業や避難住民支援
照明車 22台(名取川周辺、北上川下流周辺、相馬市 等)
- 自治体の災害対策(通信施設、就寝設備を装備)支援

災害対策本部車 2台（南三陸町等） 待機支援車 3台（石巻市、釜石市等）

情報通信の確保

衛星通信車 1台（石巻市役所） 衛星小型画像伝送装置（KU-SAT）
2台（名取市、石巻市）
・ 流失した国道45号川原川橋の代替橋梁
応急組立橋 1橋（陸前高田市）



名取川での夜間排水



衛星通信車（石巻市役所）



応急組立橋（国道45号 川原川）

【⑤市町村リエゾン班】

市町村が抱えている問題をリアルタイムに把握し迅速に対応するため、
陸前高田市、気仙沼市にリエゾン（情報収集員）を派遣。
市町村からの要望聞取、関係機関との連絡調整

- ◆派遣人員： 3/21～（（4月10日時点） 陸前高田班 杉班長外2名、気仙沼班 黒田班長外3名）
- ◆活動内容： ①救援物資の仕分け作業（資材搬入）、②首長・市町村・住民等のニーズに関する情報を収集・伝達、③国土交通省と関係機関との調整、④災害対策車等の必要性の確認・調整、⑤被災情報の収集・報告、⑥定例調整会議



気仙沼市長より要望を聞き取り



陸上自衛隊との連絡調整

●その他の取り組み

①物資輸送支援（3/20～22 いわき市）

福島県政府連絡室の要請により、集積された支援物資を各避難所に搬送するための2tトラック1台を派遣

②避難者受け入れの協力

避難者向けの案内として、道路情報板への表示や案内看板を設置するとともに、自治体が設置する案内看板の占有手続きを簡略化。



支援物資輸送のための2tトラック

③災害支援申し出窓口の設置（3/14から）

建設業団体からの災害支援の申し出受付窓口を北陸地方整備局災害対策支援本部に設置し、業団体と連携して支援。
（業団体で簡易トイレ設置、タンクローリー派遣を実施）



④北陸地方整備局庁舎施設の節電の徹底

業務の支障の無い範囲での照明の消灯、エレベータ台数の制限等の節電対策の徹底を実施中。

⑤河川維持流量の一部を発電に利用する措置を実施

電力需給の逼迫状況を受け、河川維持流量の一部を発電に利用（新潟県内6発電所、長野県内10発電所）

道路情報板で避難者相談所の案内を表示

⑥直轄国道における節電の取り組み

新潟県内の直轄国道の道路照明灯を管理上 支障のない範囲で消灯中（約3,700灯実施済）

富山県内、石川県内の道路照明についても併せて消灯を実施中（約300灯実施済）

⑦計画的節電「ピークカット15%大作戦」の協力

新潟県が呼びかけている計画的節電に協力。（4/13、4/27にピークカット効果を把握するための実験を実施）